



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月5日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3059 URL <https://company.hiraki.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 梅木 孝雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役現業支援本部長 (氏名) 高下 幸弘 (TEL) (078) 967-4601
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	3,127	△7.1	58	△1.5	76	1.2	53	3.8
2026年3月期第1四半期	3,367	△5.0	58	△66.4	75	△59.0	51	△60.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 61百万円(31.5%) 2026年3月期第1四半期 46百万円(△61.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	10.94	—
2026年3月期第1四半期	10.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	15,624	6,013	38.5
2026年3月期	14,422	6,001	41.6

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 6,013百万円 2026年3月期 6,001百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,200	1.3	90	—	80	—	50	—	10.27
通期	12,500	5.1	150	—	140	—	100	—	20.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	5,155,600株	2026年3月期	5,155,600株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	288,193株	2026年3月期	288,193株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	4,867,407株	2026年3月期1Q	4,867,407株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復して推移しました。一方で、米国の通商政策の動向や中東情勢の緊迫に伴う原材料・エネルギー価格や物流コストの高騰等による先行き不透明な状況が続き、生活必需品を中心とする物価高騰の長期化から消費者の生活防衛意識は一段と強まっており、足元の消費マインドは弱い動きとなっております。

このような環境の下、当社グループは上場20周年を迎える当期の基本戦略を「ローコスト経営の徹底」および「未来への土台づくり」とし、通販・店舗・卸の各事業が三位一体となり、さらなる開発体制の強化、顧客満足度の高い商品の提供、業務効率の向上を目指して取り組んでまいりました。

オリジナル商品では、上場20周年を記念して、4月に「499円リカバリーサンダル」を発売し、他社にはない低価格でリカバリー市場への参入を図りました。当商品は発売3か月で7万足以上を販売するヒット商品となりました。また、6月には靴・衣料・雑貨など幅広い商品を展開する「阪神タイガース承認グッズ」シリーズと、血行促進機能を付した「メグリミット」シリーズを発売するとともに、開発体制の見直しを順次進め、オリジナル商品の強化に取り組んでまいりました。これらの結果、個別商品では一定の成果があったものの全体として増収には至らず、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は、31億27百万円（前年同期比7.1%減）となりました。利益面は、営業利益は58百万円（前年同期比1.5%減）、経常利益は76百万円（前年同期比1.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は53百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

当社グループの報告セグメントの当第1四半期連結累計期間における業績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、春・夏新商品発売の他、季節イベントに合わせてタイムリーに自社ECサイトを更新するとともに、WEB広告の強化やSNS戦略を推進することで、顧客接点の強化を図り、自社サイトへの誘引に注力いたしました。しかしながら、20周年記念商品の波及効果が限定的であったため、顧客数の増加には至らず、受注件数は前年を下回りました。この結果、売上高は13億91百万円（前年同期比10.9%減）となりました。利益面は、粗利益率の改善および広告宣伝費の効率的な運用に努めた結果、セグメント利益は90百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

② 店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、全店での20周年記念商品の販売に加え、総合店では4店合同チラシや食品館リニューアル周年祭などの販売促進イベントを展開いたしました。この結果、4月および5月の売上高は総合店の日用雑貨や靴専門店を中心に堅調に推移したものの、6月は気温上昇の遅れや天候不順の影響を受けたことに加え、特売商材における価格訴求力の不足も響き、前年同月を下回りました。この結果、売上高は16億92百万円（前年同期比3.6%減）となりました。利益面は、粗利益率の高いオリジナル商品の売上構成比が上昇したことにより売上総利益率は改善したものの、減収による影響をカバーしきれず、セグメント利益は77百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、一部の主力取引先へのサンダル等の販売およびホームセンター向けスニーカーの販売を伸ばしましたが、その他主力取引先について販売が振るわず、前年同期を下回った結果、売上高は43百万円（前年同期比12.1%減）となりました。利益面は、粗利益率の改善および販管費の削減に努めた結果、セグメント利益は4百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況の分析)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ12億24百万円増加し、111億10百万円となりました。これは、現金及び預金が14億44百万円増加し、商品が1億64百万円、売掛金が1億20百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、45億13百万円となりました。これは、有形固定資産が56百万円減少し、投資その他の資産が37百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ12億2百万円増加し、156億24百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1億16百万円増加し、35億6百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が1億99百万円増加し、買掛金が53百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ10億73百万円増加し、61億4百万円となりました。これは、長期借入金が10億72百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億89百万円増加し、96億10百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12百万円増加し、60億13百万円となりました。これは、その他の包括利益累計額が8百万円増加したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.1ポイント低下し、38.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ14億55百万円減少し、31億60百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億43百万円（前年同期比64.0%減）となりました。これは主に、棚卸資産の減少額1億48百万円、売上債権の減少額1億21百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、29億17百万円（前年同期比619.6%増）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出31億円、定期預金の払戻による収入2億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、12億14百万円（前年同期比13.4%減）となりました。これは主に、長期借入れによる収入18億円、長期借入金の返済による支出5億28百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在の状況を踏まえ、2026年5月15日の決算短信にて発表しました2027年3月期の業績予測を見直した結果、当該四半期において2027年3月期の連結業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,016,320	7,460,866
売掛金	680,116	559,193
商品	2,991,813	2,826,914
未着商品	84,450	100,520
貯蔵品	10,566	10,466
その他	107,178	158,015
貸倒引当金	△4,609	△5,187
流動資産合計	9,885,835	11,110,789
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,476,911	1,430,459
土地	2,589,106	2,589,106
その他（純額）	175,272	165,701
有形固定資産合計	4,241,289	4,185,267
無形固定資産	33,448	28,849
投資その他の資産	261,464	299,391
固定資産合計	4,536,202	4,513,508
資産合計	14,422,037	15,624,298
負債の部		
流動負債		
買掛金	702,985	649,883
1年内返済予定の長期借入金	1,855,133	2,054,532
未払法人税等	7,741	23,036
賞与引当金	100,718	60,138
役員賞与引当金	-	1,250
契約負債	11,962	12,283
その他	711,254	705,139
流動負債合計	3,389,794	3,506,263
固定負債		
長期借入金	4,630,718	5,702,739
退職給付に係る負債	203,685	207,457
資産除去債務	63,475	63,646
その他	133,262	130,301
固定負債合計	5,031,142	6,104,145
負債合計	8,420,936	9,610,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	4,441,243	4,445,797
自己株式	△154,633	△154,633
株主資本合計	5,886,051	5,890,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83,838	111,439
繰延ヘッジ損益	23,173	5,329
為替換算調整勘定	8,037	6,515
その他の包括利益累計額合計	115,049	123,283
純資産合計	6,001,101	6,013,889
負債純資産合計	14,422,037	15,624,298

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,367,801	3,127,461
売上原価	1,846,609	1,701,502
売上総利益	1,521,192	1,425,959
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	361,257	282,337
貸倒引当金繰入額	522	1,883
給料手当及び賞与	423,648	421,302
賞与引当金繰入額	63,909	60,138
その他	612,938	602,253
販売費及び一般管理費合計	1,462,276	1,367,915
営業利益	58,916	58,043
営業外収益		
受取利息	3,987	6,935
受取配当金	1,681	1,958
為替差益	10,257	13,232
その他	9,748	9,096
営業外収益合計	25,675	31,223
営業外費用		
支払利息	8,612	12,396
その他	7	2
営業外費用合計	8,619	12,399
経常利益	75,971	76,867
税金等調整前四半期純利益	75,971	76,867
法人税、住民税及び事業税	42,974	23,639
法人税等調整額	△18,298	-
法人税等合計	24,675	23,639
四半期純利益	51,295	53,228
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,295	53,228

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	51,295	53,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	27,601
繰延ヘッジ損益	△6,232	△17,844
為替換算調整勘定	1,694	△1,521
その他の包括利益合計	△4,569	8,234
四半期包括利益	46,726	61,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,726	61,462
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	75,971	76,867
減価償却費	68,891	66,095
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,030	578
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38,225	△40,580
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,250	1,250
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	350	3,771
受取利息及び受取配当金	△5,668	△8,894
支払利息	8,612	12,396
為替差損益 (△は益)	128	△4,060
売上債権の増減額 (△は増加)	208,803	121,010
棚卸資産の増減額 (△は増加)	402,037	148,928
仕入債務の増減額 (△は減少)	△180,309	△54,861
契約負債の増減額 (△は減少)	△697	320
その他	163,683	△64,497
小計	703,798	258,324
利息及び配当金の受取額	6,949	9,116
利息の支払額	△10,474	△15,220
法人税等の支払額	△22,798	△8,668
営業活動によるキャッシュ・フロー	677,475	243,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,000,000	△3,100,000
定期預金の払戻による収入	1,600,000	200,000
有形固定資産の取得による支出	△4,134	△17,892
投資有価証券の取得による支出	△149	△149
その他	△1,215	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△405,499	△2,917,841
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,000,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△538,295	△528,580
配当金の支払額	△47,291	△46,854
その他	△13,131	△10,483
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,401,281	1,214,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,162	4,753
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,672,094	△1,455,453
現金及び現金同等物の期首残高	2,680,986	4,616,320
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,353,081	3,160,866

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,561,952	1,756,454	49,394	3,367,801	—	3,367,801
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,561,952	1,756,454	49,394	3,367,801	—	3,367,801
セグメント利益又は損失(△)	83,483	94,203	△1,273	176,412	△117,496	58,916

- (注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△117,496千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 店舗販売事業の売上高は、受取家賃8,259千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,391,066	1,692,972	43,423	3,127,461	—	3,127,461
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,391,066	1,692,972	43,423	3,127,461	—	3,127,461
セグメント利益	90,102	77,466	4,767	172,337	△114,293	58,043

- (注) 1 セグメント利益の調整額△114,293千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 店舗販売事業の売上高は、受取家賃7,556千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。